

第1回 論理コミュニケーション教育セミナー2018 in 三重 ～大学において必要とされる論述力の育成手法～ ご案内

2018年4月、慶應義塾大学 SFC 研究所プラットフォームデザイン・ラボは、文部科学省特設ウェブサイト及び慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスウェブサイト*1において、論述力指導の教本「論理コミュニケーショントータルログックス特別版」を高校向けに無償公開しました。その新しい学びは「文章の設計図」を身につけ、PDCA サイクルを回す。システム理論に依拠した新たな学習法が特筆すべき学習効果を上げたとの報告が相次いでいます。

一方、本プロジェクトの研究責任者である私は、もう一つ大きな結論を導き出しました。それは、慶應義塾大学 SFC 研究所プラットフォームデザイン・ラボと全国の高校教員による15年に及ぶ高大連携による研究成果を SFC フォーラム*2に引き継ぎ、計測や添削や板書教材など関連教材など「論述力育成支援サービス」を提供して頂くことです。そちらは有償でのご提供になると聞いておりますが、新しいタイプの高大連携が期待できると思います。

SFC フォーラムは、中学校・高等学校教職経験者で構成した「論理コミュニケーション教育部門」を立ち上げ、「大学や企業で必須で必要とされる論理コミュニケーションの学習をあらゆる中学生と高校生へ届けるための事業」を検討して頂けると聞いております。

つきましては、大変ご多忙のことかと存じますが、大学や社会で必要な論述力教育「論理コミュニケーション」に関して議論する場にご参集頂ければ幸いです。

*1 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスウェブサイト【<https://www.sfc.keio.ac.jp/news/012923.html>】

*2 一般財団法人 SFC フォーラム 【<http://www.sfc-forum.or.jp/>】。SFC フォーラムは、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス (SFC) の理念に基づき、産業界を担う経済人と教育界を担う大学教員とが時代が要請する新たな「知」の再編成と創造を目指すコミュニケーションの「場」として、SFC 開設と同年の1990年に設立されました。

梅嶋真樹
慶應義塾大学 SFC 研究所

開催概要

主催：慶應義塾大学プラットフォームデザイン・ラボ

日時：2018年9月8日（土）13:00～15:30

場所：三重大学教育学部 専門校舎1号館3階 303教室（予定）※裏面にアクセスマップ記載
プログラム：

1. 開会あいさつ

早瀬光秋（三重大学教育学部英語科特任教授）

2. 起業家指導と論述力指導、手段としての ICT 教育

～システム論に基づくコミュニケーション教育が国や高校から注目される理由～

梅嶋真樹（慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート、大学院政策・メディア研究科 特任准教授）

3. 論理コミュニケーション学習実践報告1 ～1人の先生の取り組みは、学校と国を動かした～

井上孝志（元福岡県立高等学校国語科教諭、慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員）

4. 論理コミュニケーション学習実践報告2 ～実践先導校における現在の取り組み～

染井久代（鈴鹿高等学校 国語科教諭）

5. データ分析で判明した高校生の論述力の実態 ～総務省 IoT 事業によるデータ解析から分かった真実～

仁藤亜里（長崎県立高等学校非常勤講師、SFC フォーラム研究員）

6. SFC フォーラムの活動 ～月額300円での学習支援サービス～

上野詩歩（SFC フォーラム研究員）

7. 閉会あいさつ

（事務局）一般財団法人 SFC フォーラム 論理コミュニケーション教育部門

〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 4489 番 105 慶應藤沢イノベーションビル内シェアオフィス

TEL: 059-329-5104 Mail: ueno@sfc-forum.or.jp（担当：上野）

アクセスマップ

〒514-8507 津市栗真町屋町1577
 三重大学教育学部 専門校舎1号館 301教室

津市内



津駅から

1. 津駅東口バスのりば「4番」から三重交通バスで、「白塚駅」(06系統)、「千里駅」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(おくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「三重大学前」下車。(附属病院、医学部、工学部へは「大学病院前」下車。)
2. 津駅からタクシーで約10分

江戸橋駅(三重大学前)から
 徒歩で約15分

キャンパスマップ

